

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 仕事の成果をあげ業績をあげることを妨げようとする圧力

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

## 仕事の成果をあげ業績をあげることを妨げようとする圧力

知力や想像力や知識は、あくまでも基礎的な資質である。  
それらの資質を結果に結びつけるには成果をあげるための能力が必要である。  
今日では知識を基盤とする組織が社会の中心である。  
現代社会は組織の社会でもある。

組織は存在することが目的ではない。  
組織は社会の機関である。  
外の環境に対する貢献が目的である。  
しかるに組織が成長するほど、特に成功するほど、組織に働く者の関心、努力、能力は組織の中のことで占領され、外の世界における本来の任務と成果を忘れていく。

仕事の成果をあげ、業績をあげることを妨げる4つの圧力（現実）がある。

第一の現実 時間がすべて他人にとられてしまうこと

第二の現実 日常業務に取り回まれていること

第三の現実 組織で働いていること  
(組織は一人ひとりの人の知識を、ほかの人の資源や動機やビジョンとして使う。それらの人と関わりをもち自らの貢献を利用してもらい成果に結びつけてもらわなければ、いかなる成果もあげられない)

第四の現実 組織の内なる世界にいるということ  
(組織の中に成果は存在しない。すべての成果は外にある)

(P・F・ドラッカー著 「経営者の条件」)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

&gt;&gt;&gt;一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.